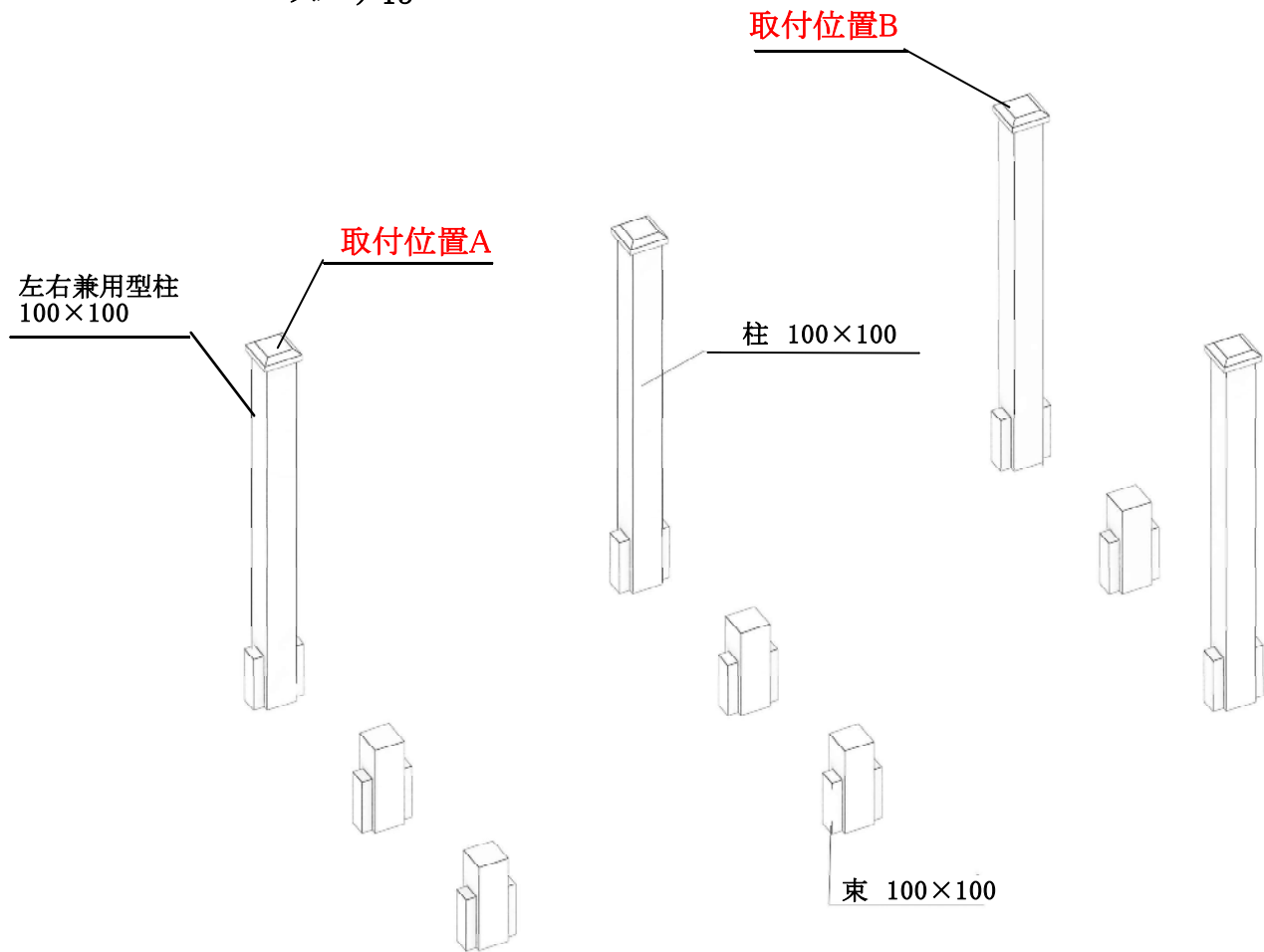


## 施工手順 No.1

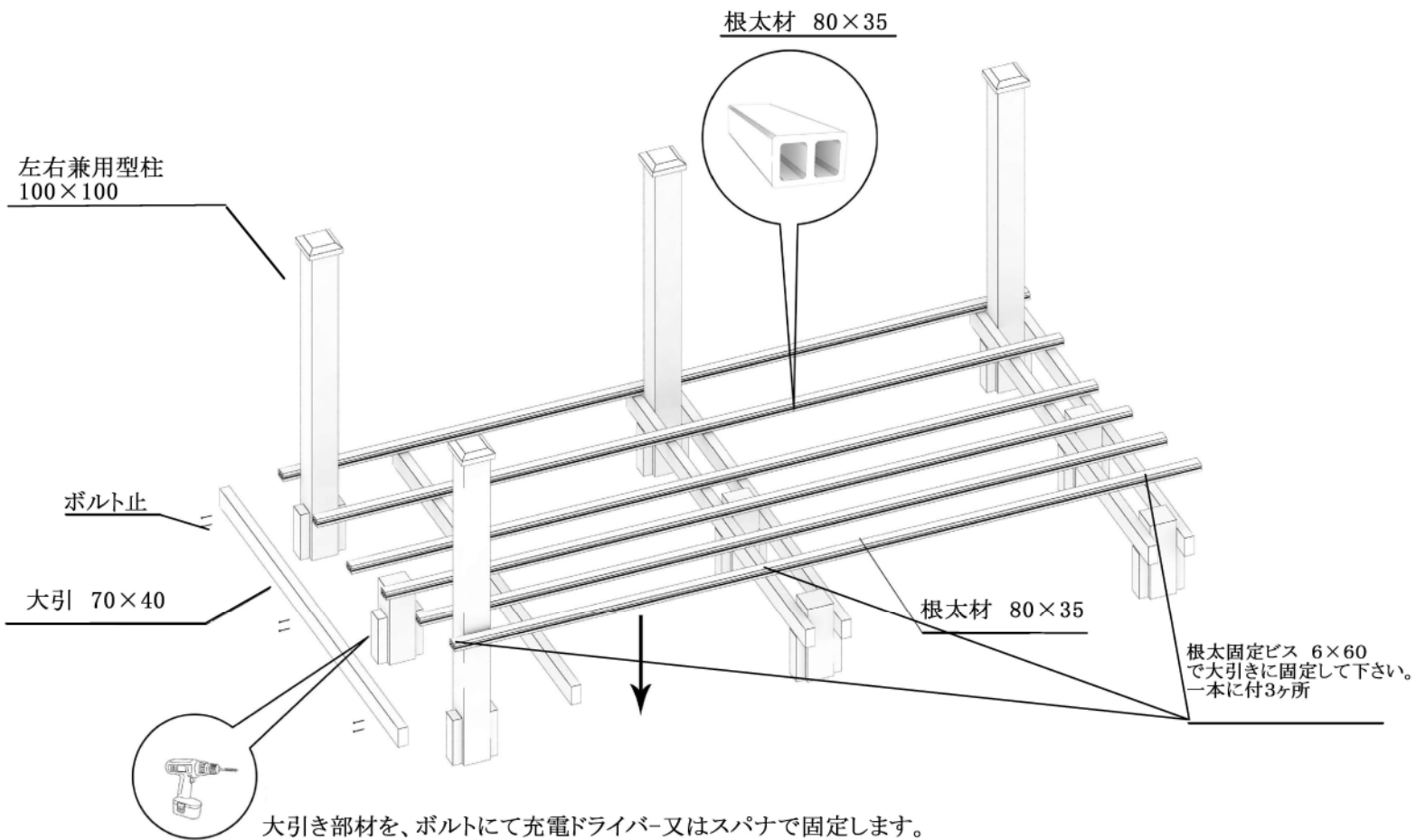
※必要道具 充電式 ドライバー  
スパナ13



※施工は、必ず水平な所へ施工して下さい。(必ず水平を決め確認してから)

- ① 施工前に部材リスト表で材料を確認しましょう。
- ② 柱・束材料を上記の通り配置します。  
※左右兼用柱は、左側に手摺を設ける場合・右側に手摺を設ける場合に兼用柱配置を **A又はB**にします。

## 施工手順 No.2

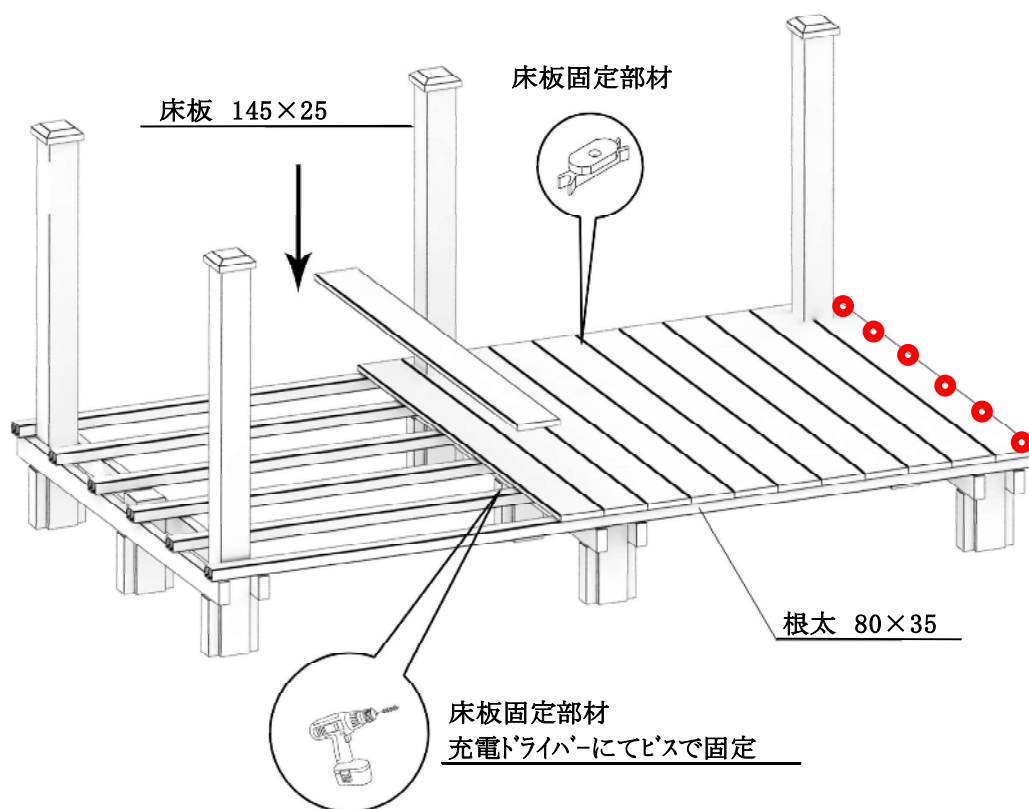


③大引材をボルトにて固定します。

④根太材を大引の上に上記の通り敷き並べます。

付属ビス(4×60)ビスで固定します。 ※ビス固定時の締付けによる部材割れにご注意下さい。

## 施工手順 No.3

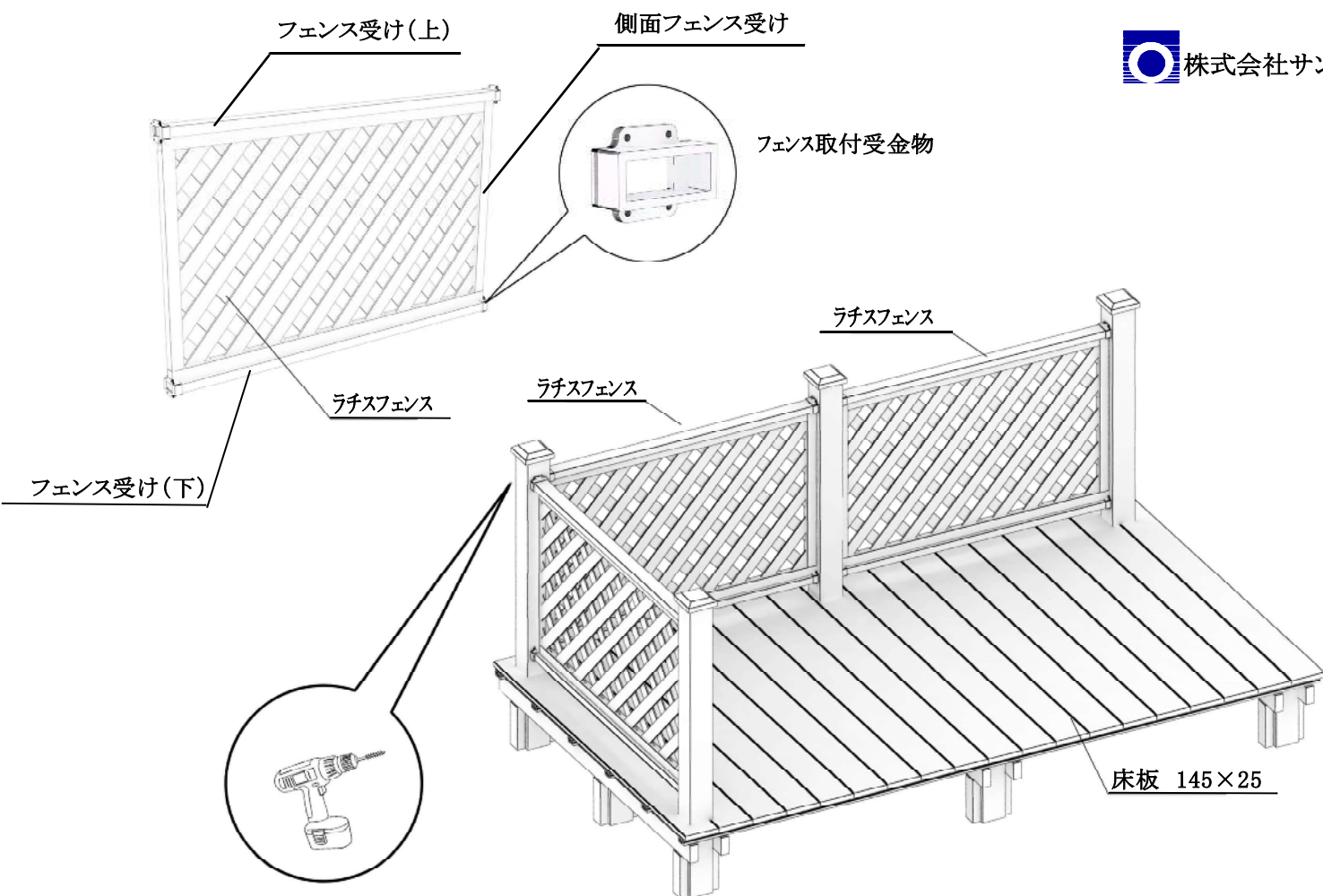


⑤床板(145×25)を付属床板固定部材を根太にビスにて固定し片側から差込みます。

- この印の所を貼り始めの1枚目と最後の1枚目を付属ビス(床板固定ビス)で止めて下さい。  
尚この際コーナー押さえでビスが隠れる範囲で施工して下さい。

※ビス固定時の締付けによる部材割れにご注意下さい。

## 施工手順 No.4



手摺フェンス取付金物を、付属ビス(4×30)にて固定

⑥ラチスフェンス取付に関しまして、フェンス受け(下)にフェンス取付金物を差込柱に固定します。続いて側面フェンス受けを左右差込みラチスフェンスを上から差込ます。

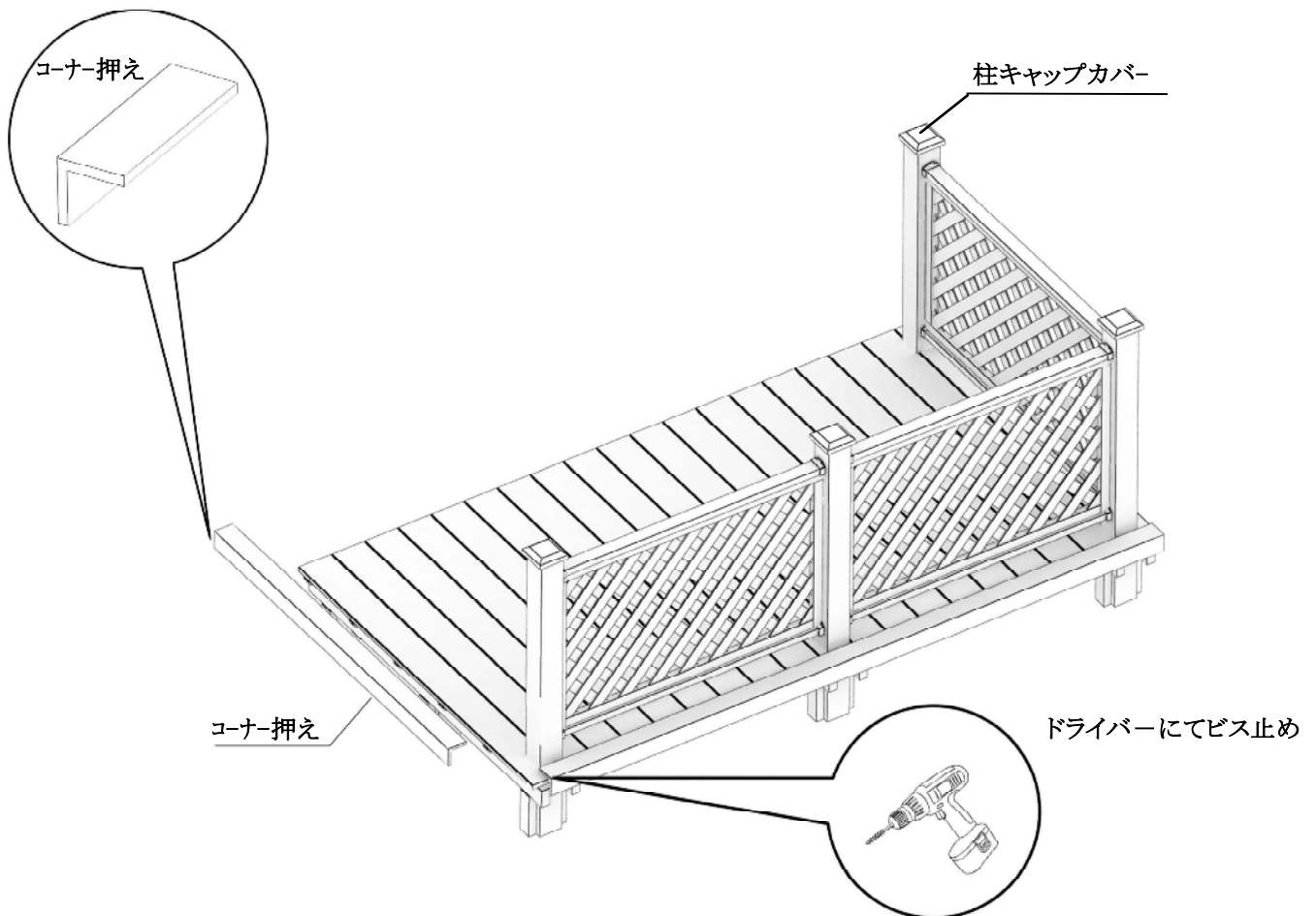
(この時ラチスフェンスが破損しない様気おつけて下さい。)

最後にフェンス受け(上)にフェンス取付金物を差込柱に固定します。

※ラチスフェンスは、破損しやすい為十分注意して下さい。

※ビス固定時の締付けによる部材割れにご注意下さい。

## 施工手順 No.5



⑦コーナー押さえを、ビスにて固定します。

※気温により部材が多少変化する為、止(45度)は、事前に隙間を開けて有る為合いません。

⑧柱キャップカバーを差込みます。

※ビス固定時の締付けによる部材割れにご注意下さい。